

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

21

佐久島振興課

補助金の名称	航路標識灯維持補助金		
(規則・要綱名)	西尾市航路標識灯維持事業補助金		
補助事業の概要 及び交付先	地域水産業者の組織する団体の実施する航路標識灯維持事業に対して、佐久島と本島を結ぶ唯一の公共交通機関である市営渡船の安全運航に不可欠な航路標識灯の維持に要する経費を予算の範囲内において交付するものである。		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	728,000円	800,000円	740,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	S62	終了年度（予定） H32
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/31受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である
	※ 補助対象経費の額	3,667,140円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
	市営渡船は、佐久島と本島を結ぶ唯一の公共交通機関であるので、渡船の安全運航に不可欠な航路標識灯の維持に要する経費が発生する間は、補助金を交付する必要があると考える。		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

21

佐久島振興課

補助金の名称 (規則・要綱名)	航路標識灯維持補助金	
	西尾市航路標識灯維持事業補助金	
①総合計画施策コード	章による分類	2 社会基盤 利便性と快適性を高める基盤づくり
	項による分類	3 公共交通
	施策内容による分類	4 渡船の維持・利便性の向上
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	利用者の安全確保するために安全航行に不可欠な航路標識灯の維持管理に対し、必要な助成を行う。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成29年度事故はゼロ。進捗状況100%	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	目標達成
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	市営渡船利用者年間約12万人、西三河漁協組合員276人、その他観光船利用者	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西三河漁業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	西尾市最大の漁港である一色港の安全を確保することにより、漁業関係者の安定した生活が維持され、また、同時に市営渡船利用者の安全も確保され、利用者が増加し、佐久島の活性化へ繋がっている。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助金交付申請時に事業の目的、事業計画書の提出を求め、事業内容を確認し、交付決定を行い、事業終了後は実績報告と収支報告の提出により、書類審査している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成28年04月01日
	改定年月日(最終)	

補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

21

佐久島振興課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	728,000円	728,000円	740,000円	
	補助件数	1件	1件	1件	
	財源	国庫県費	0円	0円	0円
		その他	0円	0円	0円
		一般財源	728,000円	728,000円	740,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	B	B	B	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		市営渡船の利用者の安全を確保する上で必要な補助と考える。			
補助金等検討委員会の主な意見						
補助対象経費を精査するなどコストの削減を考慮していただきたい。						